

◇ 博物館だより ◇			
玉湯町立出雲玉作資料館			
〒699-0201 島根県八東郡玉湯町玉造 99-3			
HP: http://www.town.tamayu.shimane.jp/shiroukan/	TEL:0852-62-1040	FAX:0852-62-1040	E-mail: shiryoukan@town.tamayu.shimane.jp

1. 資料館周辺の歴史的環境と設置にいたる経過

古代出雲はわが国有数の玉作り地帯であった。弥生時代から平安時代まで、長期間にわたり勾玉などの玉類を生産し、全国各地に供給した。宍道湖南岸に位置する玉材産出地花仙山の周辺はその中心地で、古墳時代を中心に70カ所以上の玉作り遺跡が分布する。

そのうち3ヶ所(宮垣地区、宮ノ上地区、玉ノ宮地区)が大正11年「史跡出雲玉作跡」として国指定を受けた。いずれも玉湯町内にある。

昭和40年宮垣地区を公園として整備する計画がなされた。公園整備の資料を得るため昭和44年と46年に発掘調査が行われた。その結果、30棟の玉作り工房や多数の工具、玉の半製品が発見された。昭和49年宮垣地区は、史跡公園として整備された。

資料館は、宮垣地区で出土した玉作り関連資料を保管し、公開する目的で建設され、昭和52年10月に開館した。鉄筋コンクリート2階建て。外壁はレンガ風のタイル張り。延べ面積は約373㎡(1階236㎡, 2階137㎡)である。花仙山麓の高台にあり、出雲玉作跡史跡公園に隣接している。山陰の名湯として名高い玉造温泉や宍道湖を見下ろす位置にある。

2. 展示の概要

1階に古代出雲の玉作り、2階には玉湯町の伝統工芸である近代メノウ細工と布志名焼の常設展示をしている。

1) 古代玉作り

古代出雲国(島根県東半部)の玉作り遺跡で出土した管玉・勾玉・丸玉、平玉などの半製品、玉作りのための工具(各種玉磨き砥石、ハンマーストーン、鉄製タガネ・ドリル)を年代別、遺跡別に展示している。

このほか、玉作り遺跡周辺に築かれた古墳の出土品や日本各地で玉の材料として使われた石材を展示している。

2) 近代のめう細工

めう細工は、若狭(福井県西部)から技術を学び、江戸時代末期に花仙山のめうを使って再開されたものである。大正末期に使われためう細工の道具を製作する順に展示している。

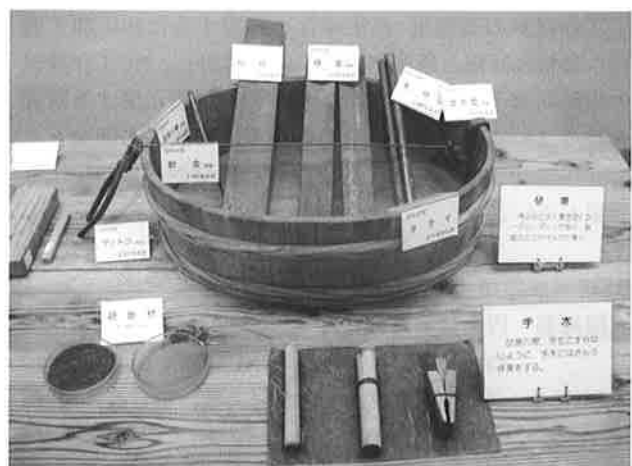
めう加温用の炉、原石をカットするための石引鋸、形を作るケンガネ、孔を開けるための孔アカシ矢、研磨用の各種鉄板と研磨材(金剛砂)、つや出し用の木砥(キリまたはホウ)などがある。



資料館の外観



資料館の展示室(古代の玉作り)



資料館の展示室(2階展示室, 研磨工程)

3) 布志名焼

布志名焼は江戸時代中ごろに開窯された出雲の代表的な焼物である。江戸時代には松江藩の御用窯であった。黄釉色絵を特徴する。

江戸時代から現代までの作品を時代ごとに展示する。

3. 古代の玉磨き砥石

原石をハンマーストーンや鉄のクギなどで叩き、大まかな形を作った後、各種の砥石で摺り、さらに形を整えた。

玉を磨く砥石はその形から4種に分けられる。平行の筋がいくつか並んでいるもの(筋砥石)、丸く凹んだもの(凹み砥石)、平らなもの(平砥石)、薄く板状のもの(内磨き砥石)である。筋は使っている間に自然についたものである。

前の3つの砥石の材質は、花崗岩・半花崗岩・花崗岩質砂岩・流紋岩・珪化木などで、内磨き砥石は結晶片岩か珪化木である。内磨き砥石は、勾玉の内側を磨くための砥石で、薄い板の形をしている。

砥石は、目の荒いものから細かいものへ使い分けられていたと推定される。結晶片岩は遠く、四国の吉野川流域か近畿の紀ノ川流域(三波川変成帯)から運ばれたと考えられている。その他の石はいずれも近くで手に入れることができた。

近代のめもの細工では、さらに木砥で、艶を出すのが、古代はそこまでピカピカにしなかったようだ。

4. 普及活動と今後の展望

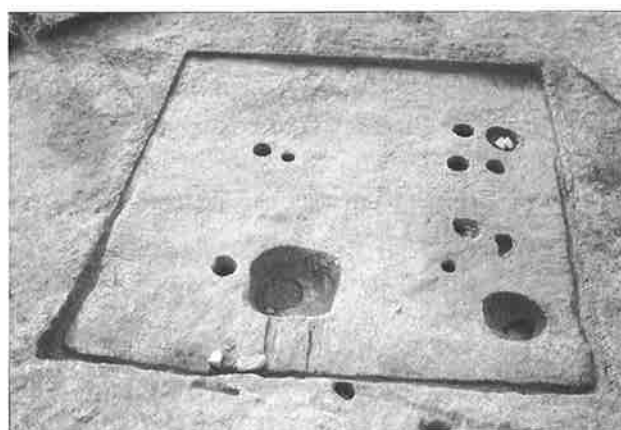
資料館では、毎年企画展のほか、普及活動にも力を入れている。小学生を対象に「子供探検隊」を組織し、毎月1回地域の歴史や自然を楽しく学んでいる。総合的学習では、学校教育との連携をはかり、学芸員の出前授業、展示の見学などを行っている。

一般対象には各種の郷土史セミナーを実施し、友の会を組織して、講演会、見学会、実技講習会などさまざまな活動をしている。

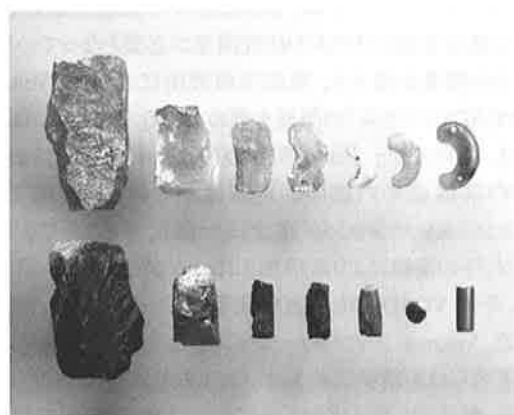
近年入館者の減少が続いている。地域に根ざし、地域に支えられた活動をすることによって盛り返しをはかりたい。



出雲玉作史跡公園



玉作り工房(71A I)



玉の製作工程



各種の砥石

■利用案内

- ・休館日 毎週月曜日、祝日の翌日、
12月28日～1月4日
- ・開館時間 午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)
- ・入館料 一般200円(160円)、
大高生100円(80円)、
小中生30円(20円)
*()内は20名以上の団体の場合
- ・駐車場 乗用車70台、バス4台